

DIALOG(R)File 347:JAPIO
(c) 2004 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

01388871 **Image available**
DEVELOPING DEVICE FOR ELECTROPHOTOGRAPHIC COPYING MACHINE

PUB. NO.: 59-100471 A]
PUBLISHED: June 09, 1984 (19840609)
INVENTOR(s): SAKAMOTO TAMOTSU
 TANAKA SHUJI
 OKAMOTO YOSHIKAZU
 SASAKI CHIHARU
 INOUE YOSHIO
APPLICANT(s): FUJI XEROX CO LTD [359761] (A Japanese Company or
 Corporation), JP (Japan)
APPL. NO.: 57-209223 [JP 82209223]
FILED: December 01, 1982 (19821201)
INTL CLASS: [3] G03G-015/08
JAPIO CLASS: 29.4 (PRECISION INSTRUMENTS -- Business Machines)
JOURNAL: Section: P, Section No. 305, Vol. 08, No. 215, Pg. 128,
 October 02, 1984 (19841002)

ABSTRACT

PURPOSE: To eliminate the need for the attachment and detachment of a developing device, etc., and to prevent a developer from being scattered by discharging a degenerated developer from an overflow part automatically and successively.

CONSTITUTION: A stirring means 5 which has the opening part for a channel-shaped stirring member 4 radially is provided. An overflow port 11 is formed in the side wall on the opposite side of a photosensitive body 1; and a discharge pipe 12 is connected under the overflow port 11 and a recovery tank 13 is provided freely attachably and detachably at the lower end. Carriers 10a and toner 10b are supplemented according to the rotation of a roll 3 and the member 4 and stirred and mixed uniformly with a degenerated developer by the member 4, and an excessive degenerated developer 10 overflows from the overflow port 11. The used developer 10 is collected automatically in the tank 13 from the overflow port 11 through the pipe 12, so the tank 13 is only attachment and detachment for the purpose.

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭59—100471

⑪ Int. Cl.¹
G 03 G 15/08

識別記号
1 1 2

庁内整理番号
7265—2H

⑬ 公開 昭和59年(1984)6月9日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑭ 電子写真複写機用現像装置

⑮ 特 願 昭57—209223
⑯ 出 願 昭57(1982)12月1日
⑰ 発 明 者 坂本保
海老名市本郷2274番地富士ゼロ
ックス株式会社海老名工場内
⑱ 発 明 者 田中修二
海老名市本郷2274番地富士ゼロ
ックス株式会社海老名工場内
⑲ 発 明 者 岡本佳和

海老名市本郷2274番地富士ゼロ
ックス株式会社海老名工場内
⑳ 発 明 者 佐々木千東
海老名市本郷2274番地富士ゼロ
ックス株式会社海老名工場内
㉑ 発 明 者 井上義雄
海老名市本郷2274番地富士ゼロ
ックス株式会社海老名工場内
㉒ 出 願 人 富士ゼロックス株式会社
東京都港区赤坂3丁目3番5号
㉓ 代 理 人 弁理士 江原望 外1名

明 細 書

1. 発明の名称 電子写真複写機用現像装置

2. 特許請求の範囲

キャリアとトナーを攪拌する攪拌手段と、同攪拌手段で攪拌された現像剤を感光体へ供給する現像ロールとを備えた電子写真複写機用現像装置において、前記攪拌手段の上方にキャリア補給装置とトナー補給装置とを分離しまたは一体化して設け、現像装置ハウジングの側壁に現像剤溢出部を設けたことを特徴とする電子写真複写機用現像装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、二成分現像剤の現像特性を一定に保持させたまま現像剤の交換作業を必要としない電子写真複写機用現像装置に関するものである。

二成分現像剤を用いる現像装置においては、現像剤は或る複写枚数で劣化し使用不能となるため、複写機より現像装置を取り外し、現像装置に設けられている現像剤取出し口より現像剤を抜取り、新しい現像剤を充填していた。

この現像剤交換作業時には、鉄製のキャリアにより現像装置が振動し、同装置の取付け取外しに筋力を必要とし、トナーが空中に舞上つて衛生上好ましくない。

しかも、現像剤交換前後の現像剤の現像特性が大幅に変化するため、複写物の画質も著しく変化する。

本発明はこのような短点を克服した電子写真複写機用現像装置の改良に係り、その目的とする処は、キャリアおよびトナーを少量ずつ補給することにより、現像装置内の現像剤を現像剤溢出部より溢出させて、同装置内の現像剤の現像特性を一定に維持させることができるとともに現像剤の交換作業が不必要な現像装置を供する点にある。

以下図面に示された本発明の一実施例について説明する。

1は乾式電子写真複写機におけるドラム状感光体で、同感光体1は時計方向へ回転駆動されるようになっている。

また図示されないドラム状感光体露出部より回

転方向に動つた時に現像剤回収ハウジング2が配設され、同ハウジング2の感光体1寄りには現像ロールたるマグロール3が反時計方向へ回転駆動されるように駆支されている。

さらに前記ハウジング2の底部内において、チャンネル状の攪拌部材4の開口部を半径方向に指向させた状態で周方向へ所定間隔毎に同攪拌部材4を配置してなる攪拌手段5か、反時計方向へ回転駆動されるように駆支されている。

さらにまた攪拌手段5の上方にキャリアボックス6とトナーボックス8とが配設され、同ボックス6、8の底部にキャリアデイスペンスロール7とトナーデイスペンスロール9とが駆支されており、マグロール3および攪拌手段5の稼働に対応して前記両デイスペンスロール7、9が微小調整されて、キャリア10aおよびトナー10bが小粒づつハウジング2内に補給されるようになっている。

しかも感光体1の配置位置と反対側のハウジング2の側壁に現像剤溢出口11が形成され、同溢出口11より下方へ排出パイプ12が接続されており、

同排出パイプ12の下端に現像剤回収タンク13が着脱自在に接続されるようになっている。

図示の実施例は前述したように構成されているため、新しいキャリア10aおよびトナー10bを充填した現像剤回収ハウジング2内の現像剤10の帯電量は、図2図に図示されるように、減衰回数の少ない状態では極めて高いが、複写回数が増加するにつれて漸次低下する。

しかし、キャリアボックス6およびトナーボックス8内のキャリア10aおよびトナー10bは、マグロール3および攪拌部材4の回転に伴ない回転するキャリアデイスペンスロール7およびトナーデイスペンスロール9により、微小粒づつハウジング2内に補給されて、攪拌部材4により古い現像剤と均一に攪拌混合されるとともに、前記現像剤溢出口11より余剰現像剤10が溢出される。

従つて複写回数が或る回数を越えると、現像剤回収ハウジング2内の現像剤の帯電量は一定に保持される。

また使用済み現像剤10は現像剤溢出口11より排

出パイプ12を介して現像剤回収タンク13に自動的に回収されるため、単に現像剤回収タンク13の着脱のみで足り、従来のような手間のかかる現像剤交換作業が不要となる。

さらに従来のような現像剤交換作業が不要となるため、現像剤の鮮上がりが増進され、初生的である。

さらにまた攪拌手段5の回転力を利用し、現像剤10を排出させるようにしたため、構造は複雑化せず、従来のものとコスト的に左程変わらない。

また図示の実施例では、キャリアボックス6、キャリアデイスペンスロール7およびトナーボックス8、トナーデイスペンスロール9と現像剤溢出口11とは、攪拌手段5の回転軸に対して直角な鉛直面に沿つて配設されているが、現像剤補給手段6、7、8、9を攪拌手段5の回転軸の一端側に配設するとともに現像剤溢出口11を同回転軸の他端側に配設してもよく、このようにすれば、新しい現像剤10の一部が充分に現像作用に供せられずに排出されることを未然に防止することができ

る。この場合に攪拌手段5で、軸方向にも現像剤を移送するオーガー等の移送機能を持たせるとよい。

さらにキャリア10aとトナー10bとを予め混合した高濃度現像剤を用いれば、キャリア補給手段6、7とトナー補給手段8、9を1つにまとめることができ、構造が簡便となる。

このような現像剤では、キャリア10aが小粒径化しても、デイスペンス機構に特別な配慮を払わなくてもよく、特にキャリア径が10~40 μ m程度のトナー粒径と同部または非常に近い範囲になると、従来のトナーデイスペンス機構がそのまま適用でき、コスト的に有利となる。

本発明では、キャリアとトナーを攪拌する攪拌手段と、同攪拌手段で攪拌された現像剤を感光体へ供給する現像ロールとを備えた電子写真複写装置用現像装置において、前記攪拌手段の上方にキャリア補給装置とトナー補給装置とを分離しまたは一体化して設け、現像剤回収ハウジングの側壁に現像剤溢出口を設けたため、新しい現像剤を前記補

B-345

? S PN=JP 59100471

S2 1 PN=JP 59100471

3-351

? S PN=JP 59100471

S4 0 PN=JP 59100471

給装量により少しずつ補給するとともに前記現像剤溢出部より排出することができ、前記現像剤ハウジング内の現像剤の特性を一定に維持させることができ、その結果、複写物の画質も一定に保持させることができる。

また本発明においては、前記現像剤ハウジング内の古くなつた現像剤は前記現像剤溢出部より順次自動的に排出されるため、従来のもののようて、現像装置を複写機より外し、同装置のハウジング内の古い現像剤を取出し、新しい現像剤を再充填した後、再び現像装置を取付けるといつた面倒な現像剤交換作業が不必要となり、しかも現像剤飛散が防止されて衛生的である。

さらに本発明では、前記ハウジング内の現像剤に新しく補給された現像剤は、前記攪拌手段のみで均一に混合されるため、構造が簡潔で、コストが安い。

4. 図面の簡単な説明

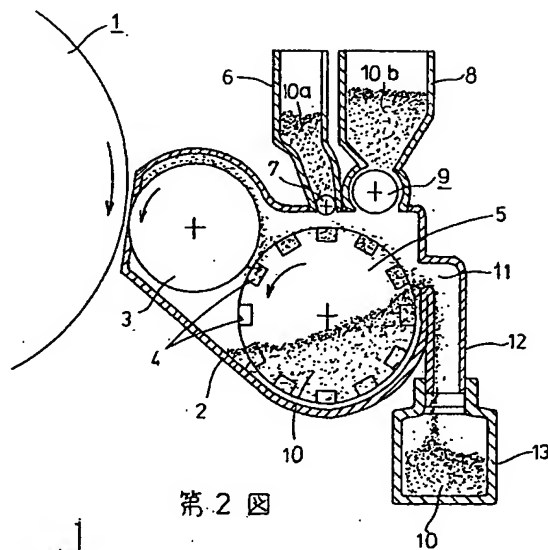
第1図は本発明に係る電子写真複写機用現像装置の一実施例を示した横断断面図、第2図は同

実施例の現像特性を示した特性図である。

1…ドラム状感光体、2…現像剤ハウジング、3…マグロール、4…攪拌部材、5…攪拌手段、6…キャリアボックス、7…キャリアディスペンスロール、8…トナーボックス、9…トナーディスペンスロール、10…現像剤、10a…キャリア、10b…トナー、11…現像剤溢出口、12…排出パイプ、13…現像剤回収タンク。

代理人 弁理士 江 原 望
外 1 名

第1図



第2図

